

受賞者紹介

竹林をよくする会

代表 山中 裕加

活動開始年月 平成14年4月



放置竹林を伐採・整備し、伐採した竹を有効活用することにより、地域の環境保全と次世代に豊かな里山文化を継承することを目的に設立。近年では、地元高校生の課外活動として、放置竹林の伐採や伐採した竹の加工品製作に取り組んでいる。新居浜市、西条市では、伐採した竹を竹パウダーとし、生ゴミ減量目的の段ボールコンポスト用基材として活用している。

これらの活動は、次世代へ豊かな里山文化を継承するとともに、循環型社会の実現につながる学びの場を提供するなど、環境教育の推進に貢献している。

主な活動実績

● 放置竹林の伐採・整備と加工品の製作

公共施設（公園・学校など）の放置竹林の伐採・整備や、伐採した竹を有効活用した加工品製作、生ごみの減量に効果的な段ボールコンポスト用基材に活用する竹パウダー作りなどを行っている。

● 地元高校生の課外活動への協力

小松高校で行われる竹林整備活動への参加や段ボールコンポストの普及・啓発活動への協力に加え、伐採した竹の加工作業を協働で行うなど、生徒が主体的にSDGsを学ぶ機会を提供している。